

第3回液化石油ガス流通ワーキンググループに対する意見

(公社) 全国消費生活相談員協会
エネルギー問題研究会 林 弘美

FRP 容器普及について

平成18年度石油ガス流通合理化対策補助事業において当協会が行った「LP ガス取引の適正化等に向けて」消費者の立場に立った消費者相談の対応及び改善に関する調査では、LP ガスのマイナスイメージとしてボンベに対する意見が多く見られました。なんとなく危なそうなど、灰色のくらいイメージが良くないのではないかと思いましたが、法律で色も決められていることなどを知って綺麗なボンベハウス等を普及できないかと考えたりしました。

その後 FRP 容器が海外では灯油のポリタンクのような感覚で利用されていることを知り、日本でも消費者が自由に使用できることを期待していました。オール電化住宅に住む高齢者が、煮炊きにカセットコンロを使っているなどの情報や、東日本大震災のあとに LP ガスがたくさんの人の命を救ったことなどを見聞きする度に、大都市での災害に備え FRP 容器が普及することを希望してきました。

保安上の問題点もあることはわかりますが、是非 FRP 容器の普及を業界全体で取り組んで欲しいと希望します。消費者団体として普及への取り組みに期待するとともに、今後も協力していきたいと思えます。

全体を通じて

消費者が自分の生活を守るために、エネルギーのベストミックスを考え、選択できるように、LP ガス業界としては納得してもらえる価格を公表し、古い慣習の改善に努力して欲しいと思えます。

行政にはホームページ上に価格を公表する事業者が損をするようなことのない施策を是非お願いしたいと思います。そして消費者はそのような努力をする事業者を応援していきたいと思えます。